

下水再生リン入り肥料の愛称は みんなのこえ に決まりました！ ～肥料の愛称とパッケージデザインが決定～



横浜市では、下水汚泥に含まれるリンを再生リンとして回収し、肥料としての活用に取り組んでおり、再生リンを原料とした再生リン入り肥料の製造と試験的な利用を進めてきました。

このたび、取組を共同で進めている JA 横浜、JA 全農かながわが、再生リン入り肥料の商品化、本格利用開始に向けて、肥料の愛称と製品パッケージのデザインを決定しました。

1 再生リン入り肥料の愛称「みんなのこえ」

愛称「みんなのこえ」には以下の3つの想いが込められています。

- ①持続可能な農業の実現を目指す農家の「声」
- ②循環型社会の形成を目指したサーキュラーエコノミーの「エコ」
- ③地球にやさしく、環境に配慮したエコロジーの「エコ」

愛称のサブタイトルは～農家の声を集めて広がるエコなサイクル～とし、肥料の国産化・安定供給に貢献するとともに、食糧安全保障の強化や循環型社会の形成を目指します。

2 製品パッケージデザイン

環境に配慮した肥料として、循環型社会の形成と作物が元気に育つ様子をイメージさせるようなデザインとしています。

また、再生リン PR ロゴマーク「はま巡リン」をパッケージに配置することで再生リン入り肥料と認識できるよう工夫しています。

3 今後の展開

令和7年10月以降、JA 横浜の組合員向けの予約販売の受付を開始し、令和8年1月からの販売開始を予定しています。



再生リン入り肥料の製品パッケージデザイン

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



参考：再生リンの肥料利用促進に関する連携協定

回収した再生リンを配合した肥料の開発・製造や市内を中心とした流通等の利用促進に向け、JA 横浜、JA 全農かながわと令和5年7月に連携協定を締結し、この取組を共同で推進しています。



参考：再生リン及び再生リン入り肥料とは

国土交通省の下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）において、月島JFEアクアソリューション株式会社と共に「MAPにより脱水ろ液から効率的にリンを回収する技術に関する実証事業」を実施しており、この事業により、リン酸マグネシウムアンモニウム（MAP）を再生リンとして回収、肥料原料に活用するものです。

JA全農かながわにおいて再生リンを原料に、作物全般に使いやすいとされる汎用性の高い8-8-8（窒素8%、リン酸8%、カリウム8%）肥料をメーカー協力のもと試験栽培用の肥料として製造しましたが、製品としては8-8-8肥料のほかリン酸とカリウムが過剰な畑に向く12-5-5（窒素12%、リン酸5%、カリウム5%）肥料の2種類で展開を予定しています。

横浜の下水道から生まれた再生リンを、再生を表す「巡る」という字と「リン」を合わせて「はま巡リン」と名付けました。ロゴマーク（右下）は、再生・循環・サーキュラーのイメージとして無限大のマークをもとに、再生リンから芽吹き、育つ植物の双葉をモチーフにしています。



下水汚泥から回収した
再生リン



再生リン入り肥料



再生リン PR ロゴマーク「はま巡リン」

お問合せ先			
(肥料の農業利用に関すること)			
みどり環境局農業振興課長	澤田 悦子	Tel 045-671-2606	
(再生リン事業全般に関すること)			
下水道河川局マネジメント推進課担当課長	西高 幸作	Tel 045-671-2940	



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

